

ノーベル賞作家と三重ゆかりの文豪の親密な関係!?



川端康成と横光利一

[要予約]
先着
50名様

美術との関わりをめぐって



池大雅《十便図》国宝1771年
公益財団法人川端康成記念会蔵

川端康成(かわばた・やすなり1899-1972)と横光利一(よこみつ・りいち1898-1947)。「伊豆の踊子」「雪国」など日本人初のノーベル文学賞作家『川端康成』と、伊賀で青少年時代を過ごし「文学の神様」とまで呼ばれた三重ゆかりの文豪『横光利一』の2人はともに、1920年代初めに文壇にデビューし、大正から昭和の時代まで日本の文学を推し進め、生涯の親友でもありました。

10月27日(土)から12月16日(日)まで、「川端康成コレクション」を中心とする展覧会の一環として、横光利一の生誕120年を記念し、そのゆかりの地、三重県立美術館にて「川端康成と横光利一」展を開催します。

この企画展にちなみ、関連する美術の話も交えながら、この2人の業績や交流について紹介します。

日程 11月12日(月)10:30~12:00

講師 三重県立美術館 館長 速水 豊

受講料 無料



30歳代の川端康成と横光利一
(『文芸年鑑1932版』改造社より)

三重県立美術館 展覧会情報

「川端康成と横光利一」

会期:平成30年10月27日(土)~12月16日(日)

開館時間:午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日:月曜日(祝日休日にあたる場合は開館、翌平日閉館)

お申込み・お問合せは近鉄文化サロン阿倍野まで

電話 (06)6625-1771

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋2-1-40 and4階
[受付時間]9:45~20:00(日曜・休講日は9:45~17:30)
※休講日
8/31(金)、9/29(土)、9/30(日)、10/29(月)~10/31(水)

【受講お申込みは】

- 満員になり次第、締め切らせていただきます。
※ただし、一定の人数に満たない場合は、講座を中止させていただく場合がございます。
- 事前にご予約ください。ご予約がない場合は、お断りさせていただきます。
- ご予約後、キャンセルされる場合は、必ずご連絡をお願いいたします。
- 詳しくは、お問合せください。

ホームページへのアクセスはこちら

近鉄文化サロン

検索

